

## ふじみ野市立東台小学校の今後を考える保護者・地域説明会 会議録

日時：令和5年1月22日（日）

午前10時から11時20分まで

場所：ふじみ野市立東台小学校

### ・出席者

ふじみ野市教育委員会

教育長 朝倉 孝

教育部長 山中 昇

副参事兼学校教育課長 石川 聖徳

学校教育課 学校管理係 指導主事 竹内 寛人

学務係長 寒竹 幸二

保護者及び地域関係者

単位：人

|     | 新入学 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 小計  | 地域 | 合計  |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|
| 出席者 | 7   | 13 | 3  | 4  | 3  | 4  | 5  | 39  | 15 | 54  |
| 児童数 | 16  | 21 | 19 | 13 | 23 | 21 | 31 | 144 | -  | 142 |

※参考：東台小家庭数 111

### 1 教育長 挨拶

皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、また寒い中、ふじみ野市立東台小学校の今後を考える保護者・地域説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、これまで様々な場でご説明申し上げております通り、東台小学校の児童数の減少が続いており、令和7年度には児童数が100名を切ることが見込まれております。このような状況の中で教育を推進することの困難さや子供たちにとってどのような影響を及ぼすのかについて、本日はお話をさせていただきたいと思っております。

まず、この説明会を始めるにあたって、皆様から70件を超えるご意見をいただきました。おひとり、おひとりのご意見を読ませていただき、皆様が子供たちや地域、学校に愛着を持って、支えていただいていると感じました。皆様の熱い思いをご意見の中にたくさんいただきましたことについて、感謝申し上げます。

本市におきましては、東台小学校に限らず、小中学校全てでコミュニティスクールという、地域の皆様、保護者、学校で子供たちと一緒に育てていく仕組みを作っております。

一般的に、少人数化が進んだ小中学校の通学区域を変える際や、学校の在り方を変えるといった場合には、保護者代表や学校代表、学識経験者で組織される学区審議会を開き、諮問のうえ答申をいただき、その答申に基づき教育委員会会議での議決を経て決定されます。

しかしながら、本市におきましてはコミュニティスクールの理念に基づき、昨年の夏から、東台小学校ドリーム会議メンバー、地域の皆様、卒業生の保護者の方からなる懇談会を開催し、協議を進めてまいりました。その会議の中で、もっと多くの皆様からご意見をいただいたほうが良いのではないかと、児童数の減少が進んでいる東台小学校の現状を多くの方に知ってもらった方が良いのではないかと、といったご意見をいただきました。

このことから、本日、説明会を開催させていただき、皆様から直接、またアンケートによりご意見をいただくことで、教育委員会として今後の方針や学区審議会への諮問内容を策定するための第一歩とさせていただければと考えています。

本日は、これまでの協議の経過とともに、少人数化が児童にどのような影響があるかについて、事務局から説明させていただきます。なにより、この説明会では少人数化を課題として認識し、何らかの対策を取っていかねばならないことをご説明させていただきたいと思っております。

東台小学校は立派な施設を持っていることから、今後も維持していきたいという思いは持っておりますが、少人数化がさらに進行してくることについて、何らかの解決策が必要だと思っております。

非常に寒い中ですが、ぜひ、皆様の貴重なご意見を頂戴できれば、と思っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

## 2 職員紹介

### 3 副参事兼学校教育課長 説明

お手元の資料等に基づき説明させていただきます。

まず、スライド1ページ目の写真は、保護者、地域代表の方に参加していただいているドリーム会議の開催の様子を紹介したのになります。東台小学校のメリットやデメリットについて検討いただきました。スライド2ページ目のグラフは、東台小学校の開校以降の児童数の推移です。開校当初は474人でしたが、令和7年度には95人となる見込みでございます。スライド3ページ目は学年別の内訳になります。

令和4年度の児童数が、126名となります。令和5年度、6年度と進むにつれて、減少していく状況でございます。令和6年度の1年生をご覧ください。

新入生が11名の予定でございます。これにつきましても、転出や私立小学校進学により1桁の人数となる可能性もあり得ると考えております。

スライド4ページ目をご覧ください。通常の学区変更の決定に関する流れとしましては、教育委員会議において諮問内容を議決し、それを学区審議会に諮問します。そして、学区審議会から答申があり、教育委員会議で答申内容を踏まえ、学区の最終決定をいたします。

しかし、今回の東台小学校に関しましては、この通常の流れに児童、保護者、地域の意見や願いを取り入れながら、諮問内容を作成させていただこうと考えております。

スライド5ページ目になりますが、学区審議会とは、ふじみ野市立小・中学校学区審議会条例に基づき設置されるもので、同条例第1条に目的として、ふじみ野市立小中学校の通学区に関し、必要な調査、審議をすることを規定しております。第2条が構成員でございます。委員は20人以内で、保護者、学校の校長代表、地域の代表、学識経験者になります。

スライド6ページ目をご覧ください。これまで約半年間、東台小学校におきまして地域懇談会等を開催し、PTA、保護者、地域の方、児童のご意見を頂戴してまいりました。

説明会の開催にあたり、保護者の方へ事前アンケートを実施させていただきました。また、学校においても児童アンケートを実施いたしました。

スライド7ページから10ページをご覧ください。児童アンケートの結果でございます。東台小学校の良いところ、困っているところ、どうしたら良いかについて、主だった意見を抜粋させていただきました。

スライド11ページから13ページをご覧ください。事前保護者アンケート、PTA、ドリム会議、地域懇談会の意見を抜粋させていただきました。

スライド14ページ以降は、学校の少人数化に伴う諸課題について説明したものです。スライド15ページをご覧ください。これまでの様々な会議や皆様のご意見等を伺い、まとめたものです。クラス替えが可能な人数は、学年最低36人以上であり、課題といたしましては、男女のバランス、多様性の学習交流、人間関係作り、大きな集団への適応力、複式学級の可能性が挙げられます。複式学級というのは、2学年合わせて8人以下になると、2つの学年が1つの組となります。これは、続いている学年とは限りません。1年生と2年生、あるいは1年生と3年生が1つの組になることも起こり得ます。そして、複式学級が学校にできた場合は、専科教員や音楽の専門性を持った先生などが未配置となる可能性がございます。また、保護者負担経費の増大や教科担任制の実施が困難となることも課題として挙げられます。以上のことを踏まえて、現時点での課題解決の方法について考えてまいりました。

スライド 16 ページをご覧ください。課題解決策として、特認校制度、学区編成、小中一貫校、東原小と統合を挙げさせていただきました。

スライド 17～18 ページをご覧ください。特認校制度の説明となります。従来の通学区域は残したまま学校施設や教育内容などを活かし、通学区域に関係なく、市内のどこからでも一定の条件のもと、就学を認めるものでございます。例えば、この制度を東台小学校に導入すると、市内 12 校の小学校から学校方針に賛同する方が入学できるようになります。特認校制度の内容は、少人数によりきめ細かい学習指導や生活指導、希望就学の実現により児童、保護者の願いが反映されます。留意点としては、児童、保護者の通学負担の増加、東台小学校区の児童、保護者は選択できずに不公平感が出るといったものです。

スライド 19～20 ページをご覧ください。学区再編については、東台小学校の通学区域を変えることにより、児童数が増加します。留意点といたしましては、再編の対象となる地区の児童、保護者、地域の合意形成が必要となります。兄弟、姉妹の在籍などにより、一定期間は経過措置も必要であると考えております。

スライド 21 ページをご覧ください。小中一貫校の場合は、小学校、中学校を 1 つにすることで、小中の連携が滑らかとなり、中 1 ギャップが解消できることや、異年齢活動が中学生とも交流できることが考えられます。留意点は、固定化した人間関係がさらに 3 年間継続することや、9 年間を見通した教育活動の定着に、時間がかかることです。

スライド 22～23 ページをご覧ください。東原小学校と統合した場合には、児童数は約 700 人前後となる見込みでございます。学級数は 23 学級、各学年 3 クラスから 4 クラスになると見込んでおります。留意点は、慣れ親しんだ東台小学校の児童、保護者の合意形成が必要となることや、東台小学校の一部の児童の通学時間が増加することです。

以上 4 つの解決策をお示しさせていただきました。

スライド 24～25 ページをご覧ください。今後のスケジュールです。本日の説明会の後、アンケートにご協力いただき、さらにご意見をいただければと考えております。その結果につきましては、改めて報告させていただきます。そして、教育委員会で諮問内容を検討のうえ、学区審議会に諮り、最終的に教育委員会議で決定するという流れでございます。東台小学校の子供たちや保護者の皆様、地域の皆様にとっての未来の姿がどうあるべきか、ご意見をいただければと考えております。よろしく願いいたします。

#### 4 質疑応答

##### 参加者 1

説明会の周知について、多くの関係してる人たちに意見を求めていくのであれば、オンラインやホームページ上での情報公開を考えていただきたいと思います。会議自体をユーチューブで流すなど、家で子育てしていらっしゃる方にも意見を求め、集約していく方が良いのではないかと考えます。以前に市長であった武藤さんが公約として、将来的に東台小学校を介護施設にすると、私が子どもの頃に聞いたことがあります。その経緯を教えてくださいたいです。今後、ふじみ野市の学校を、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

##### 教育部長

私の方からご質問にお答えさせていただきます。本日の説明会の周知方法につきましては、昨年末に保護者の皆様や子供たちからアンケートで、ご意見をいただき、本日開催するに至りました。保護者や学校関係者はもとより、自治組織の方にご協力いただき、回覧等により地域の方々にも説明会の開催をご案内させていただいたところです。今回は、東台小学校の課題をご説明申し上げ、現状をご理解いただき、皆様とともに良い方針を出していければとの趣旨により開催させていただいたものです。今後についても、様々な媒体により情報提供を行っていきたいと思っております。東台小学校の建設は、当時の東原小学校の過大規模の解消を目的としており、介護施設等への転用は計画にございません。将来的な活用方法についても、決定されておられません。

##### 参加者 2

この審議の最終的な結論が出るのはいつか、教えてくださいたいです。

##### 教育部長

先ほども児童数の推移をご説明させていただきましたが、令和 7 年度に児童数が 100 人を切るところが、1つの大きな節目となりますので、そこに向かって、皆様方のご意見を丁寧にお伺いしながら進めていく必要があります。具体的にいつまでにとお答えするのは難しいと思っておりますが、できるだけ早く方向性が出せればと考えております。

##### 参加者 3

ご説明ありがとうございました。3年後に入学するので、令和7年度に近いですが、一番優先して考えているのは、教育の質の確保や子供たちの教育の成果を高めていくことで大丈夫でしょうか。そうであれば、今日お示しいただい

た 4 つの案がどのように影響を及ぼすのかを知りたいと思いました。どの案も一理あると思います。他市の事例もあると思いますので、そういった情報を教えていただいて、定量的なデータでお示しいただけると、より理解が深まると思いました。

#### 教育部長

ありがとうございます。学校は、子供たちが社会の中で自立し、他者と連携、協力しながら、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を養っていただく場とも思っております。単に教科等の知識や技能を習得させることだけではなく、児童、生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力、表現力、判断力や問題の解決力などを育み、社会性、規範意識を高めていただけるような場であってほしいというのが教育委員会としての考えであり、小規模化は解決していかなければならない課題と捉えているところでございます。ご意見にございました他の自治体の取組みについても、承知しており、可能な範囲で情報提供できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### 参加者 4

説明資料には、東台小学校と東原小学校だけの人数が書かれていて、ふじみ野市全体の児童数、いじめや満足度の定量的データがないため、保護者が判断するのが難しいのではないのでしょうか。ドリーム会議のメンバーも保護者から広く募った方が良くと思います。本当は出たい人もいないのではないのでしょうか。アンケートも広く募り、数値を出して、みんなが納得できるようにしたほうが良いと思います。東台小学校を卒業した児童が中学校に行って、本当にうまくいってないのかどうか、声を聞いてはどうでしょうか。安易に人数だけで決めていくことは、避けていただきたいと思います。ふじみ野市全体の人数も増えていけば、税収も増え、色々なところに波及していくと思います。

#### 教育部長

ありがとうございます。おっしゃられる通り人数だけで判断するというだけではございません。子供たちにとってどのような環境がベストなのかということを中心に考えて検討してまいります。中学校の校長先生や保護者の方などからの情報では、プラスの部分、マイナスの部分もあると伺っております。保護者の方も少人数化することに対して、危機感を持っている方がいらっしゃることも事実です。児童、保護者の方のアンケートにもございました通り、友達が少ないことを気にされている方が多いと認識しております。非常に難しい問題

で、賛否両論あると思いますが、子供たちのことを第一に考えて、教育環境に与える影響を研究し、判断させていただければと思います。その前に、保護者の皆様、地域の皆様のご意見も伺いながら進めてまいりたいと思います。

#### 参加者 4

ありがとうございます。課題解決策の案は、4つ以外にはもうないのでしょ  
うか。東原小学校が東台小学校への統合する考えもあると思います。

#### 教育部長

こちらの4つの案につきましては、現実的なものについて挙げさせていただ  
いております。東原小学校を東台小学校に統合することは、学校の位置関係  
から難しい状況です。また、東原小学校地の児童の保護者や地域の方の合意形  
成が必要になりますが、現状課題があるのは東台小学校であり、東原小学校は  
過大規模という課題が東台小学校の設置によって解消されている状況から、東  
原小学校の児童を東台小学校に来てもらうということは、難しいと認識してお  
ります。このことから、現実的に考えられる方法としては、元の形に戻すとい  
うことで、学校を一緒にする案を示させていただいているところでございます。

#### 参加者 5

教育委員会の方のお考えの元に、保護者が集まって意見を言っているだけで、  
私たち保護者として意見形成してるわけではないのです。私たち1人1人が  
ポツポツ意見を言っても、どれだけの効果があるのでしょうか。私たち保護者  
にとっては、とても重大なことであるにも関わらず、すごく引かかります。

少人数が悪いことであるという前提のもとに、この会が開かれていることに  
危機感を感じています。東台小学校は、情操教育の面でも、大変行き届いてお  
ります。大人数でなければ、思考力が育たないというのは、それは思い込みで  
す。逆に少人数であればこそ、先生たちの能力がいかんなく発揮され、1人1  
人の人間形成に大きなメリットを受けています。環境としても、自然が豊かで、  
のびのびしています。人数が少ないことで、運動会を開催するのが難しいこと  
と、自分たちの子供が心も体も思考力も健全に育っていくことと、天秤にかけ  
た場合、どれほどのことでしょうか。全て自分たちの思う通り100パーセン  
ト、完全な教育を受けられるとは思っていません。一番大事なことは、子供た  
ちがいかに成長していくか、いかに先生方の協力が得られるかです。先生たち  
は日々研鑽を積んで成長しておられます。その姿を見ると、私たちは人数だけ  
では決められません。人数で決めるのは、学校運営の都合です。そんな都合の  
ために、子供たちの成長を緩めるようなことはあってはならないと考えます。

私はまず、学校で考えたいと思います。説明会で教育委員会の方たちにポツポツ言う意見を言うのではなく、保護者で時間かけて話し合ひましょう。そもそも少人数教育があるべき姿だと私は考えております。世界レベルで見ても、15人は別に普通なことであり、20人、30人になればなるほど、教育の質は落ちると思います。また、小中一貫校で少人数化がどのように解消されるのか分からないので、教えていただきたいです。

#### 教育長

子供の数がどんどん減ってきていることを、課題であると感じるか、あるいは逆にそれがこの学校のメリットとして、子供たちにとって良いことと捉えるか、様々なお考えがあらうかと思ひます。おっしゃられるご意見は、その通りだと思ひます。しかしながら、先ほど人数のところにと絞ってお示しさせていただきましたけども、令和7年度から児童数が100人を下回り、そのまま推移するのであれば、今後の見通しは立ってまいります。しかし、この東台小学校がある地域は、現在開発の計画はないことから、可能性は低いと考えています。また、推計した児童数の中には、生まれたばかりの赤ちゃんも含まれていて、小学校に入る前に引っ越される方もいらっしやいます。そうすると、新1年生が11人としておりますが、確保できない可能性もあります。その場合には、複式学級となる可能性があります。複式学級は、子供たちにとって教育の質の低下に繋がります。山間部ではなく、都内から離れていない場所であり得るのか、というお考えもあらうかと思ひます。しかし、この地域ではございませんけれども、都心から30分程度の場所でも現実に起きております。子供たちの教育に責任を持つ教育委員会としては、やはり何らかの対策を立てていかなければなりません。その対策ということで、先ほどご説明した4つの案をお示しさせていただきました。確かに世界の潮流等で考えれば、少人数というのは教育環境として良いと思ひます。しかしながら、我が国の場合には、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律により、子供の数と配置する教員の数は決まっております。学級数に応じて、教員の配置人数が決まりますので、複式学級ということになれば、2つの学年を1人の教員が教えることとなり、避けなければならないと考えております。そのような可能性もあることから、何らかの手を打たなければならないということを、皆様のご意見伺いながら、ご理解を得られるように努めてまいりたいと思っております。

#### 副参事兼学校教育課長

ご質問ありがとうございます。小中一貫校は、1年生から9年生までの学校となります。9年間で子供たちに教育をしていくもので、6年生と7年生の交



流学習が可能になるなど、特色ある教育となります。

参加者 5

ご回答ありがとうございます。直接的に少人数学級の解消になるとは思えません。学校全体としては生徒数が100人以上になっても、少人数学級解消には繋がらないと思います。法律がどうであろうと、これからの教育というものは、少人数でなければ達成できないと私は考えます。集団による授業によって身に付くとは思えません。人間関係もかなり複雑ですし、先生のきめ細やかな指導があるからこそ、育っていけると思います。

教育部長

おっしゃる通り小中一貫校となっても、学校全体の人数は増えますけれども、各学年の人数は変わりません。ただ、他学年との交流はできるような形になるかと思います。様々な考えの保護者の方がいらっしゃると思いますので、そういったご意見も頂戴しながら、東台小学校が抱えている課題をどのように解決していったらいいか、検討してまいりたいと考えております。よろしく願いいたします、

参加者 5

ありがとうございました。

参加者 6

地域・保護者の意見、願いを集める場は、あと何回開かれるのでしょうか。

教育部長

東台小学校の地域の方、保護者の方をお呼びして開催する説明会は、今回においてと考えておりますが、アンケートの実施やホームページでのご案内をさせていただきながら、広くご意見を募ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。

参加者 7

本日この場に集まるまで他の保護者の方がどのような考えを持っているかを、把握できませんでした。アンケート結果などを事前に配付してほしいです。どのような意見が割合的に多いのか、事前に把握したいと思います。

学区再編について、11 ページのグラフを見ると、東原小学校と東台小学校を分けた時点で、児童数が613人と474人であり、ここから東台小学校だけ減

ってきています。当時、予測ができなかったのか疑問に思います。仮に再編して数年後に 2 つの学校で児童数の差が開き、また同じような状態に直面した時に、学区再編が現実的な解決策となるのか疑問に思います。

今後、再開発が見込まれない、人が入ってくるが見込めないということであれば、学区再編を解決策とすることはできないと思います。

教育部長

資料等については、事前に皆様にお示しし、広く周知を図って、ご意見を募ってまいりたいと思っております。

また、東台小学校を新設したときに、児童数の減少が予想できなかったのかというご意見につきましては、まず、ふじみ野駅周辺の開発や砂川堀北側の土地区画整理事業による急速な人口の増加のため、東原小学校の児童数が、平成 18 年度には 1,200 人を超え、学級数も 35 学級となりました。校庭内にプレハブ校舎を立て対応しましたが、校庭が狭隘化するなど、喫緊の課題がございました。

また、東台小学校区のほとんどが市外化調整区域ということで、現在は開発を抑制する区域となっておりますが、当時は東台小学校周辺地域の土地利用が想定された部分もございました。しかし、結果的には土地利用されなかったことにより、令和 7 年度には、児童数が 100 人を切るが見込まれることで、少人数化への課題解決を図るため、今回この説明会の開催に至ったところでございます。

参加者 8

地域住民として、今日は保護者の方の意見を聞きたいと思っていました。令和 7 年度に 100 人を切るが見込まれ、何とかしなくてはいけないということが、現実の問題として迫っております。しかし、保護者は必ずしも同じ視点を持ってはいないことが分かりました。私は、この地域に長く住んでおります。大井本町町会は、3,000 世帯ありますが、その 7 割、8 割はこの地域ではありません。こちらの地区は、市沢 3 丁目のマンションや大井本町町会の一部ですから、少ないのですが、保護者の皆様の切実な意見を聞いて、速やかに解決を図っていただきたいということが、地元の意見でございます。

教育部長

ありがとうございます。そのように努めてまいりたいと思います。

参加者 9

まず1点目、ドリーム会議が開催されていると聞いたのですが、そのメンバーの選び方が知りたいです。

2点目に、アンケートを取っていただいたことは良いと思いますが、どのような意見がどれくらいの割合あったのか知りたいです。また、もっと意見が言える場を提供してほしいです。

3点目に、東原小学校の学童保育に入れたい人がいると聞きました。万が一合併となった場合に、学童のことも考えていただけるのか、心配しています。

#### 教育部長

アンケート結果の提供につきましては、ご要望いただきました通り分析したものをお示しできればと思っております。

また、ご意見をいただく機会につきましては、この説明会後のアンケートにより、ご意見をお寄せいただければと思っております。

東原小学校の学童保育の関係につきましては、子育て支援課が担当になりますが、現状の東原小学校の学童の方で待機児童がいるとは聞いておりません。

統合した場合に学童保育に入れたいことがないように、担当課と連携を図りたいと思っております。

#### 副参事兼学校教育課長

ドリーム会議のメンバーにつきましては、PTA本部で役員を務めていた方や自治組織の会長、地域代表の方を学校からご推薦をいただき、教育委員会で任命する形となっております。

### 5 教育長 挨拶

本日お越しいただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。皆様のご意見を伺い、定量的な分析を改めてお出しする必要があると思われました。また、できる限り皆様のご意見をいただく場を今後も作ってまいりたいと思っております。

東台小学校の少人数化につきましては、教育委員会を代表する私の責任として、何らかの手を打っていかねばならないと認識しております。しかしながら、人数が少ないことに価値があるのではないかという方々のご意見についても、十分に伺いながら、ご理解をいただけるように努力をしてまいりたいと思っております。

なお、少人数化への課題解決策として、4つの案を示させていただきましたが、小中一貫校や学区再編については、解決に繋がらないのではないかというご意見もありました。そういった部分もあろうかと思えます。

本市と同じように、少人数化の課題を抱えてる自治体のうち、埼玉県八潮市

が特認校制度を実施しており、地域の代表の方も含めたドリーム会議の皆様とともに、1月30日に視察させていただく予定です。その結果も含めた他の自治体の事例などもホームページ上でご紹介させていただきながら、今後の東台小学校の方向性を考えるうえでご参考にしていただければと思います。

本当に寒い中、お休みの中、お越しをいただきありがとうございます。本日、皆様からいただいたご意見をぜひ参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

## 6 事務連絡・閉会

### 竹内指導主事

最後に事務連絡をさせていただきます。事後アンケートを実施させていただきます。本日お配りした資料に同封したQRコード付きのA4サイズのアンケートがございますので、そちらにご協力いただければと思います。こちらにつきましては、明日以降、学校メールでも配信をお願いしますので、よろしく願いいたします。事後アンケートの結果につきましては、学校や市ホームページ、地域懇談会を活用して、周知を図ってまいりたいと存じます。よろしく願いいたします。

### 副参事兼学校教育課長

事後アンケートの回答期間については、1月27日、金曜日までとさせていただきますが、伸ばしたいと思います。改めて保護者メール等によりお知らせさせていただきますので、よろしく願いいたします。

### 竹内指導主事

本日はお忙しい中、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございます。以上をもちまして、ふじみ野市立東台小学校の今後を考える保護者・地域説明会を閉会いたします。本日はありがとうございました。